京城新報

●新聞料 [illegible]
●廣告料 ▲五號活字十九字詰一行一回金三十錢 ▲四號活字十四字詰一行金四十五錢
●陰曆 四月十七日
發行兼編輯人 秋山忠三郎
印刷人 [illegible]
京城西署西小門通
發行所 京城新報社 電話六六三番

副統監としての曾禰子（上）

翠山生

▲御本人自身も分るまい▼

曾禰子爵……彼は果して副統監として、遺憾なき適任者であらうか、萬事獨斷專行の伊公の下に果して長く副統監としての地位を保つ事が出來やうか、然り其の茫乎として捕捉し難き性格と淡然として他の奇なき行動とは識者と雖も恐らく首を傾けて之が判斷に苦むであらう、のみならず子爵御本人すらも或は自分で自分が分らぬかも知れぬ、予輩は今曾禰子爵が果して副統監としての器に適任であるか否やを闡明する爲め愛に子爵が過去半生の政治的歷史を摘み、之が進退行藏の跡に就て判斷を下して見やうと思ふ、

▲凄い腕に惚れられた▼

子爵は初め武人出身で一生を白馬金鞍の上で送らうと思つたのである、所が中道にして心機一轉し今度は目的を替へて政治家にならうと志し、時の大學校へと入學して政治學やら法律學を研究した、當時は子爵も年少氣鋭の若者であるから擧止動作極めて快濶で俊雋の氣溢るゝ許り、大分先輩からも知遇を得て少なからぬ望みを將來に囑されて居つた、子爵は此等の先輩の內非常に西鄕從道侯を尊敬し、心竊かに侯の人物に私淑して居つた、それから段々政界に乘り出して廿三年の第一期議會には衆議院書記官長として議院に現はれ政府側の重鎭を以て推されたのである其の時の子爵の働き振りは非常に眼醒しいもので殆んど萬人をして眼を驚たしむるものがあつた、世人も知つて居る通り第一期議會の紛擾事件は例の增稅問題で議員の大多數は勿論、時の議長中島信行なども極力政府の非を鳴らし辨難攻擊一步も讓らなかつた、時に子爵は政府側の一人として一方ならず苦心し種々魂膽、碎いた結果終に議長中島をマンマと掌中に飜弄し、自家藥籠中のものとなしたのである、其の遣り口の巧妙なると腕の凄さ加減には一般の人は舌を捲いたが就中伊藤公などはスッカリ其の手際に惚れ込んで了ひ、金子堅太郎と並び稱して當年の二秀才と賞めそやした位であつた、

▲自分呑み込み[illegible]▼

書記官長を罷めてから今度は純然たる在野の人となり、第二議會には籍を國民協會に入れ、其の鄕里山口縣から代議士として打つて出た、其の當時西鄕從道侯よりは以前に增しての寵愛を受け又品川彌二郎氏などよりも、大分信用をされたが其の反動として今度は前に惚れ込まれた伊藤公よりは好かれなくなり兩人の間何となく溝渠を穿つやうになつた、ソレから第三期議會には內外の信望を得て副議長となつたが其の働き振りは至つて平凡で所謂前年第一期議會の書記官當時の俤は些しもなかつた第四期議會のとき懇意の或る人から、君は黨人としては更らに性格が向いて居らぬから一層官吏となつては什麽か內地で遣るのが厭だといふなら、外交官となつて、暫く外國へ行き世界の新空氣でも吸つて來るが良からうとの勸めに依り其の年佛國全權公使として赴任したのである、ダガ例の至つて樂天的で更らに物事に拘泥しない呑氣な性質は何役に當て罷められても否といつたことのない代りに又指も動かさねば鯱鉾立ちの眞似型すらもしないので從つて其の行程が至つて平々坦々で折角佛國へ公使として赴いてからも他の奇とては更らに無く自分呑み込みの腹藝當許りであるから終に時の政府より呼び戾されて了つた、

▲何んでも御坐れ▼

佛國公使を罷めてから暫く時を經て今度は山縣內閣の閣員となり大藏大臣に任ぜられたダガ例に依つて態度莫然、擧止漠然、到底他人の忖度を許さない、マヅ此の內閣の大任も無事に送つたが其の後又々桂內閣の時代にも以前と同樣大藏大臣となつた其の時丁度桂が英國の全權公使であつた小村壽太郎氏を英國から呼び戾して外務大臣にするといふ役割であつたから氏が歸朝迄子爵に之が外務の大任を兼攝せしめたが子爵はヨイシヨと許りに膝を打ち外務大臣結構、何んでも御坐れと快く命を受けた（つゞく）

●四月中京城商況（承前）

△麥酒及洋酒類　何れも前月に比し賣行好況なり殊に麥酒の如きは札幌、キリンの二種最も需用多く亦た十年七年等のウイスキー及び平野水等漸次賣行の增加を見るに至れり値段は前月に比し變動なし

△味噌、醬油　邦人の入京者增加と共に需用多く一升三十五錢より四十錢の處最も賣行良好にして頗る好況なり亦た味噌の如きは白味噌よりも赤味噌の需用者多く値段に於ては變動なし

△金物類　前月に比し各所に於ける諸工事の着手するもの增加し爲めに一般の賣行漸次好況に向へり就中浪板、平板、洋釘（二吋位）等の品に在つては最も需用者多く殊に洋釘の如きは二吋、三吋の分は商店により一時品切の有樣にて殊に賣行多し値段に於ては前月と大差なし

△セメント　本月に入り官民の建築事業等開始するもの多きを加へ頓に需用を增加し爲めに各商店共賣行良好なり就中淺野セメントの如きは最も人氣宜敷賣上第一位にあり値段に於ては前月に比し變動なし

△ペイント類　前同樣諸工事の開始と共に前月に比し一般賣行好況に向へり値段は前月と變りなし

△材木類　官民諸工事の開始と共に需用多く爲めに賣行最も好況なり亦た日々盛に入荷あるも常に品切の有樣にして玆二三ケ月間は殊に活氣を呈し繁忙を極むるならん値段に於ては杉大角一本に付き二圓方騰貴せり

△牛皮、牛骨　前月來引續き阪地相場下落の爲め望手少なく亦た地方よりの出廻りも捗々しからず當地相場の如きも前月に比し牛皮百斤に付き何れも十圓內外の下落を見るに至れり

△石油　漸次溫暖に向ひ各種共前月に比し一般賣行を減少せり目下比較的勝利票の賣行好況なり亦た値段に於ては前月と大差なし

△石炭　溫暖に向ふと共に前月に比し大に減少したり然れども日本塊炭の如きは目下煉瓦窯及び湯屋等一般の需要多く大に好況を呈せり値段に於ては別に變動なし

△薪、炭　引續き地方暴徒の爲め出廻り少なく一面邦人の入京者增加するに從ひ需用益々多く依然賣行良好なり然れども溫暖に向ふと共に木炭の如きは貫に付き一錢五厘方下落を示せり

△板硝子　官民諸工事の開始せられたる爲め賣行多少增加せしも昨年の同期に比すれば民間に於ける建築事業少なき爲め約一割方需用を減せり値段に於ては別に變動なし

△卷煙草　官烟製烟草は値上當時幾分賣行減少の感ありしが是れ一時的現象にして其後漸次舊態に復し値上以前同樣益々好況を呈せり殊に本月の如きは邦人の入京多きと共に需用を增加し各種共賣行良好なり就中敷島の如きは頓に需用を增加し終始輸入不足を告げ時々品切の有樣なりき而して前月に比すれば約二割方賣上を增加せり尚一二ヶ月間は益々需用の多きを見るならん亦た一面土耳古貨、埃及貨等其他外國貨の需用多かりしが近來俄かに不良品輸入の世評あり從來の上等品を除くの外比較的賣行捗々しからず到底官製韓貨の勢力に及ばず

●森林法施行細則（續）

第五十八條　借受人が其森林山野を原形に回復し又は此に附屬する物件收去を怠慢したる時は農商工部大臣は此を執行するときは借受人に其費用を辨償せしむ

第五十九條　借受人が本則又は契約に定めたる事項に違背したる時は農商工部大臣は其森林山野を返納せしむるを得此場合には貸附料は[illegible]還給せず尚且損害ありし時は是を辨償せしむ

第六十條　借受人の家族傭人又は代理人が本則又は契約の定むる事項に違背したる時は借受人は其責に任ず

第六十一條　相續に依りて借受人の權利を得たる者は相續者となりし事證明書を添附し其意を農商工部大臣に證明すべし

第六十二條　貸附の目的とする森林山野を公用又は公益事業に供する必要を生じたる時は農商工部大臣は其全部又は一部を返納せしむ此の場合には借受人は料金を控除還給する事を請求するを得

第七章　保安林

第六十三條　農商工部大臣が保安林の編入又は解除するには告示をなして其意を關係者に通知す

第六十四條　觀察使は保安林に編入するを必要と認めたる時は實地の狀況及利害關係を詳記したる圖面を添附し農商工部大臣に報告すべし

第六十五條　營林法第八條規定に依りて補償を請求せんとする物は請求書に損害算定書を添附して此を觀察使に提出す可し觀察使は前項の請求を接受したる時は其金額及補償責任當事者を指定して意見を陳述して農商工部大臣に報告すべし

第六十六條　觀察使は森林法第十條の規定に依り造林及保護を命令するを必要と認むる時は農商工部大臣に報告すべし

第六十七條　國土保安上造林及保護を命ぜられたる者が其命令に從はざる時は觀察使は其費用概算書を調製して事由を詳記し農商工部大臣に報告すべし

前項の場合には費用徵收或は部分林にて定めたるに對し意見を報明すべし

第八章　森林警察

第六十八條　森林山野に放火の許可を得んとする者は期日を定めて請願すべし但し森林山野の全部又は一部が他人の所有地に關連する時は所有者又は管理人の承諾したる書類を徵收し請願書に添附すべし

第六十九條　地方官又は警察官が放火を許可したる時は放火許可證を下附すべし

第七十條　森林內又は森林に接續したる山野に放火せんとする者は防火の設備を行ひて期日前に放火する箇所接續地所有者或は管理者に其意見を通知すべし

第七十一條　放火する場合に他に延燒する憂慮有りと認むる時は地方官又は警察官は其放火を停止し放火方法或は期日を變更せしめ又は相當の設備を行はしむべし

第七十二條　觀察使が害虫驅除豫防を命令する必要を認むる時は卽時農商工部大臣に報明すべし

第七十三條　森林所有者にして農商工部大臣が命令したる害虫驅除豫防を行はざる時は觀察使は此を執行して費用を調査し農商工部大臣に報告すべし

第九章　附則

第七十四條　第十九條に依る報告は第十三號樣式及第十四號樣式に依るべし

第七十五條　森林法第二十一條に依る國有森林山野の伐木或は貸下許可の認定を受けんとする者は伐木にありては第一號樣式の二及び第五號樣式に準し貸下にありては同第九號樣式に準して請願書を提出すべし（以下樣式略す）

小説

新不如歸（十三）

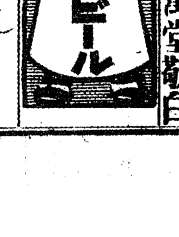
篠原嶺葉著

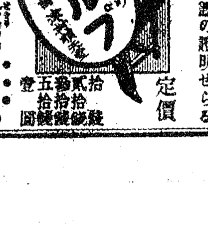
尾花少佐は、何んとなく言出し惡いやうな樣子であつたが、强て決心した如き態で「突然如麽事お願ひするは、何だか常識を外れて些と可笑か知らないですが、他人を賴んで手間暇費すよりか、自分が來て直接お願ひした方が、事が早く決するだらうと思つて來た理ですから、此事は前以てお斷り申して置きます。外の事ぢや無いですが、お宅のお孃さんを私の妻に戴きたいと思つて、此事を願ひに上つたです、とばかりでは怪しく思はるゝでせうが、實は方々から煩さく緣談を申込むものもあるのですが、他の事と違つて緣談ばかりは何程他人が勸めたからッて、自分の理想に適はんものを忍んで貰う理に行かんもんですから、寧そ他人手を煩はすよりか、自分が良緣を探した方が宜いと思つて、其となく探して居たです、所が四五日以前の事でした、一ッ本の緣日で計らず見初めたのが即ちお宅のお孃さんで、平素から私が理想として居る女に、何から何までそッくり適つてるです、其晩は他の御婦人とお兩人連でしたが、何方の方か知れないものですから、失禮でしたがお後を尾けて來たです、するとお宅へお入りになつたから非常に喜んで宅に歸つて行つたと云ふ理なんです。お願ひに出るまでの事情はこれだけに過ないですが、如何でせうお貰ひ申す理には參らんでせうか、序だから宅の事情も豫めお話申して置きますが、父は理學博士で大學の敎授をして居りましたが、三年以前死去しまして、現今は繼母と二人きりで、他は二三人の召使が居るばかりです、財產は亡父の遺產も多少ありますが那樣ものは當にしなくつても、お願ひ申して戴くからには一生不自由なく暮すだけの事は誓つて致します。これだけの事を信用して下さつて、どうか否應の御返辭が聞かして貰ひたいんです。」と、露骨過ぎるまでに、總ての事情を悉く述べ立てゝ賴むだのである。

西脇は余り意外の話であるから、驚きもせず熱心に聞いて居つたが、尾花の辭が終ると共に、躊躇樣子もなく。

「いやお話はスッカリ解りました。實は彼女は私の實の妹でありますが、兄の口から斯う申すは些と憚る話ですけれど、まだ學校に通つてる頃から二十一になる今日まで殆んど五六年の間、三日にあげず貰ひたいと云つて來る人は絶えない位です、中には釣合の取れん華族からも、方々から話もあつたのですが、私を始め家族のものは、どうせ一度は何處に遣らなきやならん軀だから、他人の喧しく云つて下れる時が女の花でもあらうし、早く身もかたまつて宜いからと云ふので、遣る事に相談した事も度々あつたです、で本人にも其事を說いて勸めましたが、何んどいひ聞かしても可厭だと云つて應じないです、只今貴方も有仰つた如く、此事ばかりは人の一生の幸不幸に關る事ですから、本人の可厭と云ふものを無理に遣ると云ふ理にも行かないもんですから、まあ〳〵其中には行くどいふ時機が來るだらうと、今日まで打棄て置いたです、斯いふ事情ですから、私は貴方の直接の談判に惚れ込むだから、速に承諾して貰つて頂きますが、先づ本人が何と言ひますか、それを第一に確めてそれから御返辭する事に致しませう、どうか暫時お待を願ひます」と、尾花を殘して置いて立出でた。百合子は何んと返辭をするのであらう。







京城新報

排日行動は韓人の外交手段也

吾人は曾て最近韓人間に傳播しつゝある排日思想及び其行動の狀況に就て數千言を費やし論議する處ありたり、蓋し以て統監歸任の際聊か其政策の發展に資するの微意を表したるのみ。

爾來引續いて排日本思想は盛んに傳播しつゝあり斯くの如くんば帝國は遂に多大の財貨と勢力を費やせる韓國の保護を放棄し此國民を覺醒せしむる新たなる政策に移るの外無かるべし、韓人は今や各階級に通じて帝國の政策を妨害し、反抗すべく企てつゝあり、彼等は帝國が此國土を保護する權能が、世界の平和を保持する自然的權能なるを了解せず、稍もすれば都合好き國家の獨立が天降りに發生すべしと想像し、日淸戰役以後僅か十年間列强均勢の時代を利用して獨立の外飾を知り得たりし時代を夢みつゝあり、韓人をして斯くの如き狀態に立たしめたるは畢竟するに伊藤公の政策を輕侮し、統監政策の寛大に馴致したるに由らずんばあらず、彼等は今尚ほ韓國は亡びずして獨立帝國の資格あるものとせり、日本帝國並に世界の列强國民と對等せる國民なりと想像せり。

若し彼等をして自由に日本勢力の排斥を行はしめよ、彼等は斯の如く想像すべし日本の勢力を牽制し抑制し得る强大は朝鮮の味方となりて朝鮮に獨立の待遇を回復するの機會あるべし今日は已む無く日本の保護に服從すべしと雖も、其の內追々と世界の强大より韓人を厚遇し、韓國に代りて日本を驅逐し得るの强國あるべしと、彼等及び彼等の祖先より以來三千年間只だ此一本筋の外交手段を企圖し此外交手段を演習し、此外交手段を活用するを以て韓半島國民の實なりとす。

彼等は其國民的性格に於て、愛國心の熱情によりて、又國家自存の教養によりて日本排斥を企圖したるに非ず僥倖を願ひ、萬一を計り、狡猾伶悧常に外交手段の成功を謀るに於ては實に韓人程氣魄の偉大なるは無し、世若し此眞相を了解し、排日行動の眞相を解得せば帝國の對韓政策に就て想半ばに過ぎずして三千年前より確定せるを知るべし、何んぞ伊藤公を待つて始めて了解せんや、吾人の祖先は實に韓人の外交により鮮血まで犧牲としたるの經驗を有するに非ずや。

●漢城便り

▲仁川開港二十五年祭も歡喜の中に無事終了致候特に一昨十七日埋立公園に於て開催せる紀念會は大々的に振ひ申候余輩は理事者諸君の勞を多とし其成功を祝する者に御座候

▲申す迄もなく仁川の生命は貿易に御座候貿易の發達は築港を必要と致候現在の如く一噸の荷物を沖合より陸揚げするに就て一圓二十錢の費用を要し候樣にては貿易の增進は望まれざることゝ存候天は自ら助くるものを助くと申候仁川の諸君奮起一番築港の大計を立てられんことを切望致候

▲伊藤統監及其從者等は人車にて會場を乘打相成候場内の士女殊に外國人などは此乘打に就て一寸異樣に感じたりとの事に御座候傍人申候に飛ぶ鳥を落す勢なる今淸盛の眼中には士女や禮儀や一切無かるべしと余輩はまさかにと相考へ申候

▲式場に於ける統監の演說は商工業の發達と文明と平和とを以て持切り申候數分時前まで多數の銃劍を以て護衛せられたる統監の唱ふる平和こそ眞の武裝せる平和なるべしと戲れたる者も有之候

▲米國總領事の演說は中々に振ゝたる者に御座候彼曰く『米國人は早くより宣教師を送り韓人を文明に導き電車其他の文明的の事業を起して韓人に種々の模範を示せり』と亦曰く『伊藤公の政策は門戶開放なり故に自分は今后米人をして益々多くの模範的事業を起さしむべし』と世界無類の模範的電車水道及超凡なる福音を宣傳する米宣教師に對して余輩は不少感謝の念を禁ずる能はざるものに御座候

▲開港二十五年史の冒頭に於ける信夫理事官の序文は慥に恕軒先生の面影を認めしめ申候只淳平氏の敍君が恕軒の筆を以て俗中の俗たる經濟貿易を寫さんことを期待せられたるや否やは疑問に御座候

東京電報

▲總選擧結果豫想

總選擧了る政友會最も優勢にして大同倶樂部は不結果進歩黨は豫期の如くならず

▲選擧法違反

今日迄に警保局に達したる報告によれば全國にて選擧法違反として檢擧されたるもの百十七件にして其の人員六百廿七人

▲松島遭難者葬儀

松島艦遭難者の內候補生以上の者の葬儀本月二十二日青山に於て執行さる（以上十六日發）

▲副統監歸任期

曾禰副統監は來月十七、八日頃伊藤統監の歸朝に交代して歸任する豫定なり（十七日發）

▲總選擧の結果

總撰擧の結果は政友會に屬するもの百八十六名進歩黨七十五名大同倶樂部卅二名猶興會廿五名無所屬六十名當撰したり（十八日發）

雜報

●皇帝東九陵行幸

韓帝陛下は既報の如く昨日午後七時御出門各大臣警視總監其の他宮內官の重なる人々を扈從し東九陵に行幸あらせらるゝ御還幸は本日午後六時の豫定にして沿道は警官警戒し護衛のため韓國儀仗兵及び日本騎馬憲兵隨行せり

●秘苑運動會

既報延期となりし秘苑運動會は本月廿一日木曜日午前十時より開催し御覽に供する事に確定し當日は太皇帝並に嚴貴妃にも御來觀ある筈なり

●漢城衛生會の事業

京城及び龍山の衛生設備を完全にし土地の健康を保持する目的を以て設立せられたる漢城衛生會は準備委員に於て諸種の調査を遂げ既に實行委員を囑託したる事は報導し置きたるが同委員の一人の談によれば同會本年の事業は第一に糞尿塵芥の處分第二に下水の浚渫にして糞尿塵芥の處分に關しては先づ各戶に糞尿塵芥箱の設備をなさしめ且現今の共同便所三十箇所を修理し新たに二十箇所の增設をなし七十臺の馬車及び民團役所並に警視廳に現存する荷車に尙五十臺を新調したるものを以て約五百人の常用人夫を用ひ糞尿は城外に溜池を設けて搬出し塵芥は燒却場を設けて灰燼となし兩者を混じて水分を蒸發せしめ混合肥料を作製する設計にて之に要する馬七十頭は石川縣産のものを軍司令部に委託して購入し馬車七十臺荷車五十台糞桶三千個及び其の附屬要具は入札の上新調する筈なり下水の浚渫は先づ住地下水道を設備せしめて地先下水道に連通し地先下水道は現在のものを修理して其の疏通を圖り經費の都合上本年度に於ては新設及び大修理は着手せざる方針なり而して同會の事業は日韓人に適用せらるゝ法規に基き經營せらるゝものにして其の他の外國人に適用する事を得ず淸國人の如きは城の內外各所に散在住居せるを以て日韓人家の設備を完全にするも此等淸國人家に於て何等の設備をなさゞるに於ては一般衛生の目的を達するを得ざるが故に目下淸國領事に向ひ同國人をして同會の事業に加入すべき樣交涉中にして同領事も本會の事業を贊し同國人に向ひ此の公共的衞生事業に加入すべく勸誘に盡力せるを以て何れも加入すべしと云ふ因みに同會は土地の健康を保持するを以て目的とするものにして糞尿塵芥等を目的とするものに非ざれば從來肥料のため汲取りつゝある者其の他汲取を希望する者には同會の命ずる方法に據れば何人にも許可する方針なりと

●兵站地變更運動

岡鐵道運輸課長は目下東京に於て目下仁川にある韓國兵站地を釜山に移轉せん事を陸軍省に交涉中なりといふ若も本交涉にして鐵道側の希望通決定せば爾來仁川運輸部は釜山に移轉され同地を起點として各地に軍隊並に軍需品等を輸送するに至るならん

●生駒の歸航

仁川開港紀念祭の爲め特に派遣されたる軍艦生駒は昨日午後拔錨橫須賀に歸航せる筈

●第二十七聯隊着期

韓國暴徒討伐隊の一部は過日仁川に上陸し既に各任地に派遣されたるが其後部隊即ち北海道旭川第七師團第十七聯隊より派遣されたる千五百名は加賀丸及仁川丸に分乘して一昨日仁川に着する筈なりしも途中暴風に出遇ひたる由なれ共某所に避難し居たる爲二日間其の到着遲延したるが多分今明日中に着すべしと云ふ

●經濟協會例會

韓國經濟協會にては明二十日午後六時半より日本人倶樂部に於て五月例會を開催し韓國に於ける通信事業のオーソリテーたる通信管理局長池田十三郎氏の『韓國通信事業に就て』なる演說ある外會員中有志の有益なる經濟談ある由なり因に同會の暴徒の經濟上に及ぼせる影響調査も大に步を進めつゝありといふ

●仁川開港紀念會

仁川開港紀念會は豫定の如く一昨十七日同港埋立地公園に於て擧行せられたり會場入口には偉大なる綠門を立て式場は新築の水産市場にして裝飾萬端整ひし各摸擬店は何れも海に面して作られたり午後二時開會號砲と共に市內は勿論遠く內地近くは京城釜山其他の地方より來りたる賓客及び會員の入場したる者殆んど二千餘に達せり式場に於て始めに富田民長の挨拶あり次に信夫理事官の祝辭朗讀あり續て伊藤統監の演說宋農相、淸國領事及米領事の演說等あり了つて 陛下の萬歲を唱へ祝杯を擧げ韓樂隊吹奏して興を添へ其他藝妓の餘興手踊、琵琶歌等あり夫より來會各自三々五々摸擬店を訪づれ更に淸興を恣にし歡呼祝聲の裡に解散したるは午後六時頃なりしと云ふ當日來賓の重なる人々は伊藤統監、村田少將、木內次官、永濱參與官、熊谷民長、各新聞代表者、軍艦生駒の各將校宋農相以下の韓官吏及京仁駐在の各國領事なり因に當日は市中に手踊、囃子屋臺の引廻し及淸人の變裝行列等あり大に賑盛を極めたりと云ふ

●生駒將校招待會

再昨日午後七時より仁川官民五十餘は生駒艦長以下二十二名の士官を八阪樓に招待し盛宴を張れり

●淸國人の祝賀會

仁川在留の淸國居留民の開港二十五年紀念祭を祝せん爲め昨日午後六時より中華會館に日本官民及諸外國人を招待し祝賀會を催せり

●暴徒討伐情報（軍司令部着）

△忠清北道永春守備隊より出したる討伐隊は巡查五名と共に四月三十日永春西方約二里の地に於て約六十の賊を潰亂せしめ其六を殪し若干を傷く

△平昌守備隊より出したる郵便護衛兵三名は五月八日大和北方一里に於て約二十の賊に遭ひ其五を殪す

△慶尙南道咸陽守備隊より出したる下士以下十五名は五月七日咸陽東南方山淸西南約三里の山地に於て四五十の賊に遭遇し之を潰亂せしめ其二を殪す

△江陵守備隊より出したる伍長以下九名は五月八日三陟南方九里道溪に於て約廿六の賊を殲滅し翌九日道溪の南三里に於て約五百の賊に遭遇し之を擊退し其六十二を殪し多數を傷け又同守備隊の伍長以下七名は五月九日三陟の南十五里の地に於て約四百の賊に遭ひ其四十を殪し若干を傷く

△珍富守備隊の特務曹長已下九名は五月十二日旌善の東六里上監溪に於て約百四十の賊に遭ひ其三十二を殪す

△全羅南道輪橋憲兵分遣所憲兵軍曹已下十名は五月十五日羅州郡內に於て約八十の賊に遭遇し之を潰亂せしむ賊の死八傷者多數ありたるを認む

△蔚山警察分署の巡查三名は同地守備隊の上等兵已下五名と協同し五月九日蔚山北方約六里の地に於て約五十の賊を討ち其十一を殪す

●銃彈藥を奪取せらる

五月四日金城堂峴世昌洋行の獨逸金鑛番小屋に賊徒襲來し番人所持のモーゼル銃三挺彈藥を奪取せりと

●水雷爆發の慘狀

本月十四日欝陵島南面ウーボク洞沖合にて韓人が機械水雷一個發見引上んとする際爆發して日本人一人韓人二人即死重輕者七人あり

●綿糸と鐵道運賃

鐵道管理局に於ては京義線を營業線となしたる以來輸入貨物の吸收に全力を傾注しつゝあるが過般來より麥酒官煙其他の輸送賃を割引したる外綿糸の運賃を割引して從來仁川を經て輸入したるものを釜山より京釜線により京城に輸送する事となりたるは既報の如くなるが過日來より仁川綿糸商と管理局側との交渉により大阪より仁川に輸入すべき綿糸は釜山より京釜線により京仁線を經て仁川に至る運賃を船賃同率に値下する事に略決定し不日實行する事に決したりといふ

●醬油輸送賃交涉

從來日本醬油會社釀造の醬油に限り普通鐵道賃金に對し斤扱にて多大の割引特典を與へ居りしが同會社に於ける醬油の輸送は一便毎に噸以上の重量に上り居れば斤扱の割引にては割引の効餘り多からざれば今回同部長歸任次第會社より噸扱割引の交涉をなすべしといふ

●青年會の慈善演藝會

日本基督教青年會同盟は統監府鐵道管理局の重立ちたる人々の贊成を得て韓國鐵道青年會なるものを創始し龍山にて鐵道部員及び其家族等の爲めに宗教、教育、社交等種々なる集會を催ほし來りしが今度一歩を進め鐵道沿線に在る日韓民の慰問等をなす考にて其經費を得る目的を以て來る廿一廿二廿三の三夜本町座に於て慈善演藝會を開く由至極よき思ひつきにて又青年會同盟が是迄爲し來りし事業が已に世間の認識を得て居ることゝて京城在留の重もなる官民が其贊助員となりしといへば其成功は疑ひなかる可し、因にいふ三十七八年の日露戰役中出征軍を慰勞し端しなくも事天聽に達して聖上皇后兩陛下より金一萬圓の御下賜を辱ふしたのも此青年會同盟である、又昨年四月東洋に於ける最初の萬國大會を東京に開き其主人役として二十五ヶ國の代表者を遺憾なく接待し、其砌伊藤公爵より祝電及び金一萬圓を贈られしも同じ此青年會同盟である。

◎眞龍齋貞水 鐵道青年會の慈善演藝會の爲め態々渡韓せし貞水は東京に於ける講談師中斬然頭角を挺てゝ居る第一流の辨士にして此度は先年我が聖明慈仁なる 皇后陛下の御前にて口演するの光榮を有せし愛國心、千人針、本総湖、日露戰爭中に於ける兵士の勤務といふ三題を毎晩一席と昔日談の中より木村長門守、雷電爲工門、長短槍試合、一心太助、二宮尊德翁、義士銘々傳等の中より一席を撰びて演ずるよしなり貞水は近來一切興行席に出席せず或は貴顯紳士の私宴に招かれ或は教育會慈善會等の公席に呼ばれて日夜多忙の身なるが此度は淺からぬ得意先きを斷はり青年會の招聘に應じて渡韓せしなりといふ

●幼々會第二回景況

既報學部及び同所轄學校に在勤せる日本人によりて組織されたる家族會幼々會は其の第二回を一昨十七日午後一時より寶六庵庭園に開催せり出席者は俵次官を始め男五十八人女三十三人兒童三十人合計百十三人にして今回は宴遊會組織となして四箇所の模擬店を設け手品講談（柏葉）福引、手踊、活人畫（會員）等の餘興及び會員所有の古器物古書畫等の展覽會あり平素家庭にのみ在りて極めて無趣味なる韓國の生活に寂寞を感せる老人婦女兒童は同僚の家族が一堂の下に會したる事なれば嬉々として笑ひ喃々として語り和氣靄々の中に本日の清遊を終へ午後六時半散會せしが當日は會員皆服裝は常服の儘と云ふ事にて極めて質素を旨とし會費の如き大部分は俵次官此れを寄附したりと云ふ

●女學校生徒募集

別項記載の如く官立漢城女學校職員着任せしを以て近々生徒募集に着手する筈にて學部に於て開校準備中なり

●韓國判檢事の任命

本月十一日附にて左の本邦人は韓國各裁判所の判檢事に任命せられたり

永島巖、土井庸太郎、中山勝之助（以上判事勅任二等）鳥山虎也太（判事勅任三等）黒川穰、向井巖（以上檢事勅任二等）吉田雄三郎、藤鉦次郎（檢事勅任三等）岩本以明、元木直一、玉置琢、鈴木伍三郎、勅使河原健之助（判事奏任一等）松下直美、横田定雄（判事奏二）岩田孝慈、兼重次郎、郷津友彌、北村五七郎、關口半（檢事奏一）寺田恒太郎、青木幹造（檢事奏二）

●大内暢三氏當撰

福岡縣郡部に於て代議士候補として競爭中なりし同氏は大多數を以て當撰されたりとの報ありたり

●近事片々

▲韓國 總撰擧無事に行る未だ詳報に接せざるも各派領袖株は概ね當撰せる者の如し

▲政友 會は依然多數を占むるならむも無所屬の實業派案外多からむ是一の新現象也

▲實業 派猶興會進歩黨と合し非增稅軍となり政友派に當る是面白き取組見物あらむ

▲商井 主義の大同倶樂部の向背茲千金よりも重し大浦淸浦の指導如何は囑目を要す

▲近時 代議士の行動醜劣惡政の危機を叫ぶ者多し總撰擧に依り淸新の氣起らば幸也

▲伊藤 統監東上の繰上は全く西園寺內閣の危機なる爲と豈夫暴徒刺客に怖には非じ

▲事有 毎に東上して任地を空にするは策の得たる者に非ず少し落付ては如何に候や

▲韓國 亦公の外人なきに非ず一々公を呼ぶは余り人物拂底の樣で体面にも關する也

▲歸任 後一箇月ならざるに亦歸朝すると責任上些と怪し去ど亦肯れる節もある也

▲大韓 協會統監に具申して李陽東尹孝定等を地方に派し暴徒を慰撫せんと云ふ

▲統監 果して此具申に耳を傾けしや斯る小細工は最早時機遲れたり今は一擧討伐耳

▲間島 の狀況暖氣と共に繁盛前途亦有望との報に接す北韓素と富源多し開拓急務也

▲運輸 交通機關の設備速にせざるべからず鴨綠江森林問題の解決北韓の殷盛加らむ

▲數年 間の懸案問題たりし鴨綠江の森林漸く解決す權限面白からざるも先目出たし

▲日淸 共同三百萬元の資金不可ならず實際の統御權を握るを肝要是には人物を要す

▲毎日 申報のベッセル紐育ヘラルドに排日的虛報を頻に上海を經て打電すとは眞乎

▲其費 用の出所に就て怪しからぬ風說有事實ならば膺懲の大鐵槌を下さゝる可らず

▲帝國 の對韓政策に異の妨害を爲すものは彼徒也今や決して容赦する時にあらず唯

▲發賣 禁止位の制裁は彼徒を膺懲するに足らず内に勇なる斷を少く外に發せよかし

▲淸國 雲南の革命軍益々猖獗年々歲々斯る禍亂絕へず愛親覺羅の社稷汲々危いかな

▲支那 は分裂するか完全に統一すべきかは極東の大問題也完全なる統一は甚困難也

▲小邦 分立も亦不可能ふ可くんば我帝國力を添へて現社稷を保ち完全に統一すべし

▲露國 の財政愈々逼迫國債を募るの外なしとウイッテ喝破す黃金の延棒何處にある

▲財界 の逼迫は世界を通じての大勢各國の軍備過大の結果か世界共通の研究必要也

▲林董 外相退き小村外相となり都築英大使に珍田獨大使と恰も確定の如く風聞さる

▲加瀬令兄の當選

朝鮮タイムス梧堂氏の令兄前代議士加瀬禧逸氏は千葉縣より再選せられ愈々昨朝南大門發一番列車にて赴任の途に就きたり

●藤原俊雄氏 本邦屈指の輸入商なる東京銀座藤原商會主藤原俊雄氏は今回商用を...

●憲兵少尉上原辰三郎氏 一昨夜山本館へ投宿せり

●新設女學校職員の着任 ... 官立漢城高等女學校學監赤穂春千岡副教授溝部... 飯野園子の三女史は...何れも着任し目下學部に於て...

▲加瀬令兄の當選 朝鮮タイムス梧堂氏の令兄前代議士加瀬禧逸氏は千葉縣より再選せられたり

●壹岐警視の赴任 西署警察署長警視壹岐寛氏は過日晋州警務署長として轉任を命ぜられ愈々昨朝南大門發一番列車にて赴任の途に就きたり

●藤原俊雄氏 本邦屈指の輸入商なる東京銀座藤原商會主藤原俊雄氏は今回商用を帶び來京せられ目下天眞樓に滯在中なり

●憲兵少尉上原辰三郎氏 一昨夜山本旅館へ投宿せり

●新設女學校職員の着任 新設せられたる官立漢城高等女學校學監赤穗春子同副敎授溝部郡奈同板野德子の三女史は兩三日前に何れも着任し目下學部に於て開校準備に執掌し居れり

●韓官任命 任奎章閣祗候官 正三品 [illegible]泳徽

●警部の任免 京城警察署警部志田昌文氏依願本官を免ぜられ元廣島縣二十[illegible]

●又々仁川の火事

祝融氏何ぞ夫れ仁川に災禍を下すの甚だしきや纔きに花房町に火災ありし其餘烟の未だ消へやらぬ一昨日午後九時三十分仁川山手町二丁目に在る大阪商船會社々宅炭部屋より發火し二棟の二階建長家を全部燒失したり同日は同社員小川某が内地に歸るを以て社員全部は之を極峴に見送る爲め出拂ひ居たる留守中に中川家の隣の炭部屋より烟出で中川方に吹込み來りしかば中川の妻女は之を見てスワ火事だと豫て用意の消火器を以て之を消し止めんとしたるも纖弱き女子のことゝて思ふに任せず斯する中其裏手なる洋燈部屋の石油鑵に燃ね移りしかば火は勢を得て見る〳〵中に燃へ廣がり中川、島田、山下の三軒を燒き盡したるが火の手は何は其勢衰へず向ひ側なる同社次席伊藤氏の宅に移りし此の一棟中雄・朝野、横山、三浦の全部を燒燼して漸く鎭火したり其損害は約壹萬圓の見込にて發火の原因は平素火の氣なき所なれば多分放火ならんと云ふ

●小火 再昨日午後三時頃南署東洞三十統八戸大分縣生れ大工職下郡平治方より出火し將に大事に及ばんとする處を隣家なる千葉昌贏氏が認め斯くと知りて相共に消防に盡力したるを以て幸にろの軒先きの一部を燒きたるのみにて鎭火したり

●市井の昨今 山時鳥初鰹は市人の耳に口に入らねども眼に青葉の佳き時季となりたれば幾久しく着古したる布子身に重く分けて昨日今日特に温度も平日より高かりしものから襤褸々の痩せ浪人迄が麥藁帽の新らしきを人目に立たせ何處で工面したかチルの單物すら最と輕げに着けたるも見受くるなり△辻屋、三越、龜屋を始め其他市中の主なる雜貨店にては孰れも陳列替をなして日毎夜毎盛んに顧客を呼ぶに努め居れり△北濱邊身を刺す頭は彼處の横丁此處の小路に饂飩、ぜんざい、かん酒などの提灯ブラ下りて印袢天組を招ぎ居りしが一軒減り二軒減り今は其の多くは何れも玉簾染抜き提灯の氷屋と化せんとし既に彼處此處にてヨボ達の氷攪かする音を聞くぞかし△不景氣〳〵と世の中は今にも暗にならん程の噂はあれど道は漢京のことゝて孰れの商店も可なりの賣れ行きあるものゝ如く特に夏向き品の表戸に向ふて處狹き迄積み重ね取り並べられたるは最と美くしく本町一丁目の篠崎商店にては大景品付賣出しをなすとて店頭の景氣盛んなるも喜ばし△本町座にては來る廿一日より三日間鐵道青年會の催しに成る慈善演藝會あることは大方の知る處なれど歌舞伎座には本日より片岡長太郎一座の花々しく初舞臺を演ずる筈にて昨日町廻りをなしたりと△南山の美人茶屋漸く賑ふべく新町は例に依りて可なりの景氣なりと云ふ

●強盜逮捕 廣州郡松波當時楊州郡廣津居住石乙(二十)京城西部北木洞居金德化(三十)二人は數年前より強盜の群に入り京城及び楊州廣州地方を横行せしものにて過般檢擧せし内社及外社團体の者なるが檢擧當時逃走踪跡を晦ましたるに依り搜索中の處昨今京城に入り込み居ることを探知し十四日東大門内に於て逮捕せられたり

景品付大賣出

景品總高金壹千圓也 貯蓄債券
一等金二百圓 アリ空籤ナシ
二等以下略ス 店頭ニ揭載ス
現金掛賣共金五十錢毎ニ景品券一枚
五月十日ヨリ七月十五日迄
抽籤期日七月十六日弊店ニ於テ新聞社員及景品券持參ノ御方立會ノ上公平ニ施行仕候
和洋雜貨 文房具御 測量器械
京城本町一丁目(郵便局前) ノサキ商店 電話六百四十八番

●發狂者(同居人の迷惑) 岡山市字天瀬六番地の者にて關山隣三郎(四十)といへるは去る四月初旬より當地南山町一丁目の車夫眞子卯三郎方に同居し本町三丁目の伊藤組の人力車挽子たりしが本月中旬より精神に異狀を生じ辻褄の合はぬことを饒舌べりつゝ何所を當どもなく日々市中を彷徨き居れるが一昨日某巡査が本町二丁目を巡視の際其の洋刀を握つて是れを僕に呉れ玉はぬかなど途徹もないことを吐かすより警察署に連れ歸り同居人眞子卯三郎をも呼び出して取調べて見るに隣三郎の妻は關山ミチといひ目下國元に居れども旅費を送るほどの餘裕あるものにあらず當人は勿論無一文にて幾分とても旅費を取替ねて歸國せしむる手段も出來ず然ればとて當人には當地に親戚などのあるでもなく行掛りより已むを得ず同居せしめ居るとのことにて是れも迷惑の話なれども他に引受人とてもなければ卯三郎に説諭し成るべく外出せしめざるやう保護せしむることゝして同人に引渡したるが近頃厄介な代物なり

●横着な酌婦 愛媛縣の者にて本町八丁目の玉川樓の酌婦片山とめ(二十)といへるは如何なる魂丹を逞らし居れるかは確かに知る由なけれど一昨日南部警察署へ出頭し要ことは去る二月より同樓に酌婦勤めを爲し居れるが過日來病氣の崩しおり迚も韓國にては治療も出來ざるより内地に歸らんと思へるも同樓に借金の拂ひ殘り二十圓ばかりあるを以て歸國の上は早速に送金すべきにより夫れにて勘辨なし呉るゝやう樓主に懇願すれども樓主は其の金を拂つた上でなければ暇を出すことならぬと無情のことばかり申すにより警察署の御威光を以て暇を呉るゝやう御説諭下されたしと願ひ出でしも貸借は民事上に屬することゝて説諭の限りにあらざれば他より借り替ねて支拂ふか夫れとも再度樓主に懇願して見るが穩かな處置を執るが宜からうと却つて説諭せられて引退りたり

●ケチナ客 南山町本願寺通りに陸軍用達の看板を揭げ居る某と云ふ分別盛りの男は去る十六日二三の友人を連れ大和町の或る料理屋に登樓して飲めよ歌へと大散財を爲したる揚句五圓六十錢の勘定を五圓仕舞ひ立ち去らんとするより仲居は何時も某が勘定を滿足になしたる事なければ今度こそはと豫て期したることゝて慌てゝ引きとめ其の不都合をなじりたるに某は却て憤り六十錢の金が惜しければ乃公の店へ取りに來いと横着を極めしより仲居も默つて居られず金が無ければ何せ酒を飲むかと双方大口論の末遂に仲居三人の爲めに云ひ懲められ散々油を取られた上不足の六十錢を澁々仕拂ひ立ち去りたりとそれ程金が惜しくば初めから柄にも無き散財をよせばよいのに恥暴すのが餘程好きな生れ付と見へる哩

●五雲會番組 同會の第二十回の謡曲會は來る六月七日正午十二時より本願寺別院に於て開會すると云ふ其番組は左の如し

氷室 竹田氏、熊谷氏、小林氏
敦盛 小竹氏、安西氏、龜島氏、小西氏、鈴木氏
三山 鍋島氏、本田氏、岡本氏
七騎落 田淵氏、頼中村庄氏、岡田中貫氏、遠和田氏、增戸氏
草子洗 香坂氏、王中村三氏、貫野田氏、澁谷氏
富士太鼓 吉住氏、上村氏、烏氏
天鼓 黑澤氏、長氏

●俗調● 松若

三日見ぬ間に早や氣が變り 外に心を散る櫻
二人揃ふて花見にゆけば 花より世間に散る浮名

●仁川開港二十五年祭 仁川開港二十五年祭の紀念として編纂せるもの裝釘優美印刷鮮明、且つ開港十幾年の揷圖は詳細なる内容の記事と相俟つて一層の完璧を加ふ蓋し一面好個の紀念册子たると共に他面又机上の裝飾品たるを失はず(仁川開港紀念會編纂)

●山口呉服店の夏物賣出し 本町四丁目山口呉服店は今般京坂各地最新流行の夏物珍柄着荷せしを以て本日より向ふ十日間正札より一割引を以て大賣出しを開始したり

●改良料理 軍司令部通韓洋亭は和韓洋の料理法に通ずる板場を雇ひ入れ從來の料理法に一層の改良を加へ膳に上すと言へば世の食道樂家は一度試し見るも可ならん

●歌舞伎座の演劇 當地好劇家のお馴染なる片岡長太郎一座は今回旭町一丁目の歌舞伎座に乘り込み本日より開場することゝなりたり初日藝題は前「松竹梅三女仇討」切「千本櫻道行所作事」にて重なる役割は幸作、堤藤太(片岡長太郎)娘お松(嵐吉右衛門)阪田庄三郎、六兵衛(澤村竹三郎)塙團右衛門、軍兵衛、きよと作、忠信(黑谷市かく)

第三回決算報告

貸借對照表　明治四十一年三月三十一日

借方（資産の部）

科目	金額
未拂込株金	三〇〇、〇〇〇・〇〇
他店勘定	九二、〇〇〇・〇〇
不動産	五、八五〇・〇〇
別口貸附金	六、九〇七・〇〇
創業費	二〇〇・〇〇
什器	二二五・五〇
現金在高	三、八〇〇・六九
未收入金	一九六・八七
合計	四〇九、一八〇・〇六

貸方（負債の部）

科目	金額
株金	四〇〇、〇〇〇・〇〇
借入金	五、八五〇・〇〇
準備積立金	七五〇・〇〇
別途積立金	七五〇・〇〇
當期純益金	二、〇一〇・三三
前期繰越金	一九・七三
合計	四〇九、一八〇・〇六

財産目録は貸借對照表借方中創業費を除くの外同一に付省略す

損益勘定

科目	金額
當期總益金	三、六五九・四三
當期總損金	一、六四九・一〇
差引 當期純益金	二、〇一〇・三三
前期繰越金	一九・七三
內	
創業費償却	二〇〇・〇〇
準備積立金	二〇〇・〇〇
別途積立金	一六〇・〇〇
賞與金	一五〇・〇〇
配當金	一、二六四・八三
後期繰越金	五五・二三

右之通り候也

明治四十一年四月二十日

京城實業株式會社

取締役社長　曾我勉
取締役　秋吉富太郎
取締役　笠目榮吉
取締役　田中常次郎

前記の各項正確なる事を認證候也

監査役　酒井政平
監査役　淵上貞助

小供入用

當所に於て小供入用に付き

一學力高等小學校卒業程度
一年齡十五歲以上十七歲以下

のものにて希望の御方は本人自身御來談有之度候也

京城本町二丁目
三井物產合名會社京城出張所

公告

一金五十圓也　但勸業債劵及貯蓄債劵

右ハ南源太郎氏ヨリ長女亡文子ノ遺言ニ依リ當民團立第一尋常高等小學校敎育基金中ニ御寄附相成候右公告ス

明治四十一年五月九日

京城居留民團長　熊谷賴太郎

襖張替　表裝一切

京城本町五丁目
表具師　竹堂

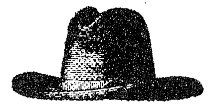
開店廣告

三巴酒造吟釀
○銘酒日の出　○高麗花
巴醬油味噌製造塲特製
○白味噌　○赤味噌　○三巴印醬油
○磨擦精白米

右品質精撰之上特別廉價ヲ以テ販賣仕候間多少ニ不拘御用命被仰付度願上候

女中いらず德用すり味噌製造元

京城本町壹丁目角　電話七五三番
三巴酒店



帽子洋傘其他夏物新荷着

京城本町三丁目
龜屋
電話二十七番



歐米最新流行靴各種取揃有之候尚斯業ニ精巧ナル職工ヲシテ御一ル文ニ可應御注次第代價表進呈候也

京城明治町三丁目
北村商店

從來龍山川端町ニ於テ開業中ノ所今般患者諸氏ノ便利ヲ計リ旭橋通旅館長崎屋跡ニ移轉シ院務擴張汎ク一般患者ノ診察ニ應ス

龍山旭橋通り長崎屋旅館跡

診療時間　午前宅診　午後往診
入院隨時

久木田醫院

染

物友仙小紋
更紗黑紋附
其他京染

京都市新シ町錦小路北入（電話千六百二十一番）
中井染業店

京城大和町二丁目二百五十二番戶
同分工場

疊製造業

▲開業御披露▼

▲迅速確實價格低廉▼

京城南大門通二丁目
御手洗幸助

今般會員を增加し懇切叮嚀を旨として自宅病院外勤看護の依賴に應じ申すべく候

京城南山町（日本人俱樂部前）
漢城外勤看護婦會
電話九五二番

廣告

今般時勢の進運に鑑み小兒科專攻の爲め一時歸朝す

京城壽町三丁目
坂井病院長
坂井義明

醫院開設廣告

這般坂井病院の跡に於て一般患者の診療を開始す

五月一日

京城壽町三丁目（元坂井病院跡）
高井醫院院主
陸軍三等軍醫正從六位勳四等功五級
高井貞治

◉會員募集（規則書申込次第送呈す）

初等、中等、高等、各科ノ語學講習生ヲ募ル

別科國語及漢文ヲ敎授ス○本會ハ各專攻ノ敎師担任ス○個人敎授、出敎授、通譯、起稿文飜譯等ノ需ニ應ズ○會員ニ何時入會セラルヽモ入會當日ヨリ起算シテ向フ滿三十日間ヲ一ケ月分ニ換算スルノ便益アリ○會員ノ希望ニヨリ晝夜何時ニテモ敎授ス

京城大和町二丁目（駐劄軍司令部前通）
日英韓語學講習會

廣告

瓦

精選製造瓦販賣
並に御好に應じ賣渡し可申候

京城旭町二丁目
橘辰三郎

京城本町四丁目
小室支店

京都龍文堂製
鐵瓶及風呂釜
淸水燒茶器各種

京城本町五丁目一番戶
馬木商店

一會席御料理　御一人前金一圓
吸物　猪口　爐燒
さしみ　甘煑
上酒　二本

今回上等別品の藝妓兩三名並に熟練せる料理人ご仲居を雇入叮嚀懇切を旨こし大勉强仕候間賑々敷御來遊の程偏に奉希候

明治町二丁目（富士村木店横）
敷島樓
主人敬白

最新流行特別裁縫夏服新荷着

高等出來合洋服は卸小賣共特別廉價を以て御相談に應可申候

東京塚原支店
京城明治町一丁目
原雄吉

高等御下宿
諸官衙通勤に最も便利の位置

京城旭町一丁目
三河屋
主山縣儀作
電話二一八番

謹告

エジプト莨及マニラ葉卷其他煙草類各種
西洋雜貨洋酒洋菓子並に支那糖菓及紅茶
六神丸特約販賣　但有名なる上海製造のものに御座候

在韓淸國人

大連安徽頭彩金壹萬圓　第三十一次（陰曆四月十日陽曆五月十日）開彩
湖北頭彩金五萬圓　第十八次（陰曆四月二十日陽曆五月廿日）開彩
江南頭彩金壹萬圓　第七十六次（陰曆四月廿八日）
第十七次（陰曆四月十五日陽曆五月十五日）開彩

確實發賣如遠隔地方御購求希望者御贈金並書留信料添贈急速御用命通可附付不誤主顧

定價
湖北彩票全紙金七圓五拾錢　小切八拾錢
江南彩票全紙金七圓　小切七拾五錢
大連彩票全紙金壹圓參拾錢
安徽彩票全紙金壹圓參拾錢

京城永樂町水標橋二宮街
西洋雜貨商　源源號

能代杉板類及杉角

右今般能代より多數輸入致候間特別廉價販賣可仕候多少に不拘御用命願上候

明治四十一年五月

京城旭町一丁目
小森商店材木部
電話七百四十四番

●美術參考●

美術自動人形

東京淺草花屋敷ニ於テ興行中の處今般有志の御招キニヨリ渡韓

京城西小門通（京城新報社横）ニ於テ毎日午前十時ヨリ開場（晝夜共）大人拾錢　小兒五錢

●社會敎育●

齒科全般の治療

米國最新式義齒

京城本町六丁目（藪そば横町）
米國齒科醫學博士
女醫　中村安子

鍼灸術開業

昨年中龍山榮町龍山座前ニ於テ營業ヲ始メ御引立ニ預リ候處今般京城御得意樣ノ御招キニ應ジ左記ノ處ニ於テ開業致候間何卒舊ニ倍シ御引立ノ程只管奉懇願候

京城大和町二丁目（義和宮殿前）
鍼灸術　中島惠愛堂

御傘印入並提燈類

京城明治町一丁目
大島商店

高等理髮舘

京城相生町南門湯前
秀床

●大阪豆腐●

大阪滋養王豆ソップ　右は一合三錢にて朝夕配達仕候間御入用の御方ははがきにて御一報被下度候

豆腐木のめでんがく　右は一人前十三錢にて仕出し可仕候

京城旭町壹丁目
中瀨商店

●木のめ田樂●

日本澤庵
味噌醬油製造
乾物荒物鑵詰
銘茶食料雜貨

漬物問屋
京城本町五丁目
大上商店
（電話二五一番）

日本郵船株式會社　電話十番

瀛船仁川出帆廣告

仁川海岸通
貨物及船客取扱店
郡回漕會
電話三九番

京城南大門通
巴商店
電話三〇六番

●釜山長崎門司神戶行　山東丸　六月七日　後三時出
●群山、木浦、釜山、門司、神戶、大阪行　第一オハヨ號　五月　日　後三時出
釧路丸　月　日　後三時出
●大連、大沽、牛莊行　高砂丸　五月　日　後一時出
山口丸　五月廿六日　前五時出
●大連、大沽、牛莊行　酒田丸　五月廿八日　後一時出
●鎭南浦行　第一オハヨー號
●釜山出帆、元山清津、浦鹽行　弘前丸　五月廿　日　後三時出

注意　御乘船ノ際ハ稅關波止場ヨリ本船迄御送迎船ニテ御送迎り可申候送迎船ハ本船出帆ノ約五十分前ニ解纜ノ